

留学計画 タイトル	観光業による佐賀県活性化		
大学名等	佐賀大学 経済学部	学 年 (採用時)	3 年
採用年度	2016年度	留 学 期 間	6ヶ月間 (2016/09～2017/02)
留 学 国	カナダ	留 学 先 機 関	現地の語学学校
事前・事後インターンシップ先機関	J T B 佐賀支店		

## 留学について

目的：現在、訪日外国人観光客が年々増加していて法整備や企業の経営方針が変わっていく中で、地方だけが取り残されていく事態を危惧しその状況を打破したいと思いました。日本の文化を生かしながら佐賀県にも観光客を誘致できないかと考えアニメを活用した観光客誘致、さらには佐賀県の活性化につながらないかと思いアンケート調査や留学先での佐賀県への観光誘致、プレゼンなどの活動の留学をさせていただきました。

活動内容：近年2020年の東京オリンピックに向けて観光産業が盛んになっている。ホテルの建設ラッシュ・民泊の法整備・案内表示の多言語表記など日本人だけではなく外国人も観光客として迎え入れようと県や地元企業が一体となって努力を行っている。外国との交通の便も九州は比較的恵まれており、九州の中心である福岡や文化的・歴史的に有名な長崎県に挟まれた佐賀県は思うように観光客を集客できておらず、認知度も低い現状がある。そういった現状を踏まえどうにかできないかと考え、日本の強みであるアニメやご当地キャラを生かしつつそれらを観光に活かし観光客増加を目指すことができないかと考えた。そのために外国から見た日本を考え「観光の際どのようなことを日本に求めているのか」「日本に観光した際何をしたいか」などのアンケート調査を多くの民族が集まり「人種のモザイク」と呼ばれているトロントで効率的に行い集計した。アンケート結果をふまえ、佐賀県の良いところを存分に味わえるような観光プランを考え、語学学校に通う友人や、現地の交流を通して出会ったかたに紹介し佐賀県のアピールや観光誘致を行った。実際に帰国後カナダで出会った友人が佐賀県を訪れ観光案内を行い評判がよくそれを聞きつけた人が佐賀県に来たばかり、今年の夏にも別の友人がくるので案内予定である。今後はアジアだけではなく、欧米からの観光客も増やしていく必要があるのでアジアよりも遠い欧米からの観光客をどのように誘致をするか、どれだけ魅力的に発信できるかが勝負だと思うので今後も自分にできることは微力ながらやっていきたいと思えます。

## 成果

留学を通して学んだことはたくさんありますが観光業について述べたいと思います。日本は旅行会社がキャンペーンをしたり自治体などがゆるキャラを作るなどして観光客を誘致しますが、カナダにはそういった取り組みはなく、団体ツアーなどは比較的少なくインターネットで老若男女構わず多くの人が自ら予約を行い自分で計画を立てるのが普通です。また、アンケートより日本で旅行した際に求めることとして「日本独自の文化・建造物を学ぶこと」「温泉」「日本食」が上位に挙がっていることがわかりました。以上より、魅力的な街づくりを行えば個人観光客の誘致に可能性は十分あるうると考えました。特に佐賀県は嬉野温泉や武雄温泉などの有名な温泉や温泉湯豆腐が有名なのでそれらをうまくSNSで発信していけば観光客増加につながるのではないかという結論になりました。

## 伝えたいこと：後輩たちへ

留学をすることは、何かのきっかけや誰かの後押しがないと中々踏み出すことができません。自分なんかできないと思うのではなく少しの勇気を出してチャレンジしてほしいと思います。留学をして後悔をした人は絶対にいないと断言できるほど、ものすごく素晴らしい経験をするすることができます。学生のうちにやっておけばよかったと後悔することがないように、少しでもしてみたいという気持ちがあればチャレンジしてみてください。

## 伝えたい事：支援企業の皆様へ

支援してくださる企業様のおかげで、私は半年間留学をすることができ貴重な経験をすることができました。言葉では表せないほど、感謝をしております。本当にありがとうございました。帰国後、「留学で学んだことを生かしたい、海外で働きたい。」と思うようになり、海外勤務もできるような就職先を探し、無事に就職することができました。今後は海外勤務ができるよう仕事を精一杯こなし、日本だけではなく世界で活躍できるような人材になり少しでも世の中の経済発展に貢献できるよう頑張りたいと思っております。

## 事前・事後インターンシップ

受入機関名	J T B 佐賀支店
期 間	事前： 2016/8/19 ～ 8/23 (5日間) 事後： 2017/3/14 ～ 3/29 (16日間)

内容： 実際に支店を見学したりツアーに行かれる方のお見送りだったりと J T B の方がどのような業務に携わっているかを経験することができました。旅行会社が観光産業に対しどのような働きをしているのかを垣間見ることができ貴重な体験をさせていただきました。外からみることと実際に体験してみるのでは全く違い沢山学ばせていただきました。